

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国 3000 万署名・推進ニュース

NO.6

発行日: 2006年9月7日 発行: 全教・日高教・教組共闘

—京都— 3日、スタート集会開催

教基法改悪反対署名と3000万署名をセットでとりくみ、目標達成めざす！

9月3日、「子どもと教育・文化を守る京都府民会議」が主催する「教育基本法改悪反対 守って生かそう！ 9・3教育集会 - 3000万署名スタート集会」が150名の父母、市民、教職員の参加で開催されました。オープニングは、洛北青年合唱団による歌声で、29日の「憲法・教育基本法を守り発展させる北部京都大集会」でも堀尾さんが熱唱した「ねがい」などを参加者とともに歌いました。

勝野正章さんによる「教育基本法改悪で学校はどうか～教育の構造改革と教育基本法改悪のねらい～」と題した講演は、さわやかな語り口でわかりやすく好評でした。学校の中で一番重要な人間同士の「つながり」を断ち切られているなかで、教職員が引き裂かれ悩み苦しんでいる状況にあること、いまの商品化されつつある教育、そして市場化を一層加速化していくのが教育基本法「改正」案であること、政府・与党がそれをすすめればすすめるほど困難・矛盾が広がり、「本来の教育とは何かや、学校はどのような場所であるべきか」という問いを子どもたちや父母がはじめていること、子ども・保護者・教職員がつながりなおすことから教育基本法を生かす教育・学校づくりがはじまっていることに確信をもってほしいと、これからの私たちの運動の方向を指し示してくれるようなお話でした。

その後の意見交流では、教育基本法改悪を先取りする京都市の教育行政の実態、京都市内定時制高校の募集定員の削減問題、北部教育大集会での民主団体や地域との共同のひろがり、長岡京や伏見区での教育懇談会、共同のネットワークづくりの経験などが発言されました。府立高校を3月に卒業した青年は、「特色ある学科の生徒は自信もっている人が多いが、私のまわりには自信をもてない子がたくさんおり、それがとても悲しい、勉強やスポーツだけで人を見てしまうのではなく、人間としての自信をもてるような学校であってほしい。また、大学進学にもお金がかかりすぎ、お金がないと勉強ができないのはおかしいと切実な思いを発言し、参加者の心に響きました。

集会の最後に集会アピールと行動提起を確認しました。9月～10月にかけて各地域での共同組織づくりと集会や宣伝の実施、11月3日には教育基本法を守る府民大集会と憲法集会を合流して開催する予定です。

職場からは、「3000万署名の具体的な教育要求を語ることで教育基本法を守る意味が話やすくなる」と教育基本法署名と3000万署名をセットにしたとりくみが進みはじめています。府高のある職場では、日高教の提起をうけてとりくみはじめた「卒業生への手紙運動」として、卒業させたクラスに今の情勢や憲法・教育基本法署名の依然を書いたクラス通信の卒業版を送り、3000万署名とセットで署名への協力を呼びかけています。



9・3 集会の様子

京都では、教育基本法改悪反対のとりくみとむすんで、「すべての子どもたちにゆきとどいた教育を」の要求を3000万署名に集め、京教組全体で20万筆をめざしてとりくみをスタートさせました。

(京都府高 佐野)

風船・のぼり 間に合っていますか！

街頭署名行動にかかせないのが、風船とのぼりです。今年、風船は、皆さんの要望に応え、文字が太くなっています。さらに欲しい組織は、ご連絡ください。風船は1個10円、のぼりは1本1,000円です。また、大好評の「3000万署名推進資料」は2回目の追加印刷をしました。こちら、ご相談ください。